



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.11.30 No. 3316

新小岩支部定期大会かちとる(11/21)

貨物職場で本格的闘いを

諸問題の解決 へ総決起を

新小岩支部は一月二
日、第一三回支部定期
大会を開催し、ストライ
キで闘った清算事業団闘
争をはじめとするこの一
年間の闘いを総括すると
ともに、貨物職場での本
格的闘いをたたかいぬく
むこう一年間の方針を決
定した。

大会は支部組合員五〇
人の参加のもと、議長に
山下栄治氏を選出して進
められた。

冒頭あいさつにたった
関支部長は、この一年間
のたたかい、とりわけ新
小岩支部としても一〇数
年ぶりの乗務員のストライ
キを三月二〇日にうち
ぬきながら、清算事業団
闘争の先頭に立ってたた
かいぬいてきたことに感
謝のことばをのべた。

しかし一方で清算事業
団に不当にも配属された
支部組合員の磯辺哲夫さ
んが、念頭の地方労働委
員会命令をがちとりなが
ら、不当解雇をはねのけ
て新たな闘いを開始した
矢先の五月に、急性心不
全でなくなれたことに
ふれ、磯辺さんの遺志を
ひきついで闘い抜こう、
と訴えた。

つづいて、来賓のあい
さつを、鈴木葛飾区労働
事務局次長、新小岩支部
出身で顧問の中江船橋市
議、本部中野委員長より
それぞれうけた。

一般経過報告から運動
方針・予算案までを執行
部が行ったのち、質疑応
答に入った。

おもな発言は、

- ① 社宅入居について、青
年部員の年令について(青
年部)
- ② 年金・退職金問題、五
五才以上の出向問題につ
いて(内勤)
- ③ 動力車乗務員の勤務、
とりわけ準備時間の削減
について(乗務員分科)
- ④ 一交勤務の年休取得に
ついて(外勤)
- ⑤ EL・DL二車種検査
する検修にも乗務員同様
に手当を(検修)
- ⑥ JR以降昇給・昇格に
明確な組合差別がある。
是正のとりくみを(乗
務員)
- ⑦ 乗務員の五七予科生の
賃金が、一年上の五六予
科に比べ差がありすぎる。
是正のとりくみを(青
年部)

などと、職場がかかえ
ている多くの問題が出さ

新小岩支部新役員

支部長	関 豊
副支部長	斉藤 隆男
書記長	君塚 正治
書記次長	川田 伸夫
執行委員	若林 寛
"	大岩 定雄
"	加瀬 武正
"	的場 正和
"	大竹 哲治
特別執行委員	鎌形 哲男
会計監査員	山倉 広一
"	並木 敬治

れた。本部・支部よりそ
れぞれ答弁がされたのち、
新たな役員を選出して支
部大会は終了した。

なお青年部も午前中に
第一二回支部青年部定期
総会を開催し、闘う方針
と新役員体制を決定した。

貨物協議議会

結成総会

十二月十一日

十八時から

千葉市民会館

あと一か月
冬季物販に
全力をあげよう

すべての組合員のみなさん
冬季物販の取り組みも、あと一か
月になりました。目標の完全達成に
むけて、すべての組合員のみなさん
が今一度全力をあげることを訴えま
す。

いうまでもなく、物販活動は被解
雇者の生活と原職奪還のたたかいを
支えていく上で、最も重要な取り組
みです。

さらに今回から、分割・民営化反
対の一波・二波の被解雇者に加え、
清算事業団の被解雇者十一名が新た
に加わりました。

これら動労千葉のたたかひの、最
先頭にたつてきた被解雇者をまもり
ぬくのは、現在JRの中でJR体制
と対決している労働者にとって、絶
対的な責務です。

組合員一人二万円の目標達成へ、
残すところあと一月、全力をあげよ
う。

清算事業団中労委

闘争に結集を

十二月十二日(水)

十三時三〇分から

定期委員会

十二月十五日(土)

十三時より

労働者福祉センター